

超音波ガイド下 神経ブロックセミナー 開催のご案内

～いま、麻酔科医が知っておくべき、基本的ブロックの手技～

開催日◆2012年 **6月7日(木)～9日(土)**

会場◆神戸ポートピアホテル南館B1階 プライベートルーム カトレア

ハンズオンセミナー開催

■講師<下肢ブロック>

堀田 訓久先生

自治医科大学 麻酔科学・集中治療医学講座 講師

インストラクター

平 幸輝先生

自治医科大学 麻酔科学・集中治療医学講座

■セミナー日程

6月7日(木)・8日(金) 14:30～15:30

■講師<上肢ブロック>

藤原 祥裕先生

愛知医科大学医学部 麻酔科学講座 教授

インストラクター

伊藤 洋先生

愛知医科大学医学部 麻酔科学講座 講師

橋本 篤先生

愛知医科大学医学部 麻酔科学講座

■セミナー日程

6月8日(金)・9日(土) 10:30～11:30

※ハンズオンセミナーは先着順にてご案内いたします。

同時開催：神戸国際展示場にて新製品<硬膜外麻酔キット>もご紹介をしております。

—— セミナーに寄せて ——

インストラクターの先生方のご紹介



堀田 訓久先生

自治医科大学 麻酔科学・集中治療医学講座 講師

(6月7日(木)・8日(金))
14:30～15:30

下肢手術に末梢神経ブロックを活用しましょう

下肢の手術に末梢神経ブロックをしたことはありますか?神経ブロック単独での麻酔は、はじめは躊躇するかもしれません。そこでまずは、全身麻酔で行うケースに末梢神経ブロックを併用してみましょう。補助鎮痛や術後鎮痛法として活用することができるので、麻酔の質を高めることができます。

下肢の末梢神経ブロックは、超音波ガイド法の習得をお勧めします。超音波画像による客観的な評価ができるので、手技を習得する際の利点となります。下肢の神経支配は複雑ですが、基本となるブロックから習得しましょう。今回のセミナーでは、大腿神経ブロックと坐骨神経ブロック(殿下部アプローチ・膝窩アプローチ)を取り上げ、超音波画像の描出法を中心に解説を行う予定です。これらの手技を習得するだけでも、多くの手術に活用することができます。

これから手技の習得を考えている方や、テキストを読んだだけでは十分に自信が持てない方など、多くの方の参加をお待ちしています。



藤原 祥裕先生

愛知医科大学 医学部 麻酔科学講座 教授

(6月8日(金)・9日(土))
10:30～11:30

覚えておきたい超音波ガイド下腕神経叢ブロック

超音波ガイド法の登場によって神経ブロックは安全・確実かつ簡単に行えるようになりました。その中でも、腕神経叢ブロックは他に有効な代替鎮痛法がないこともあり、ぜひ覚えておきたいテクニックです。本セミナーでは、各種の腕神経叢ブロックに関する基本的知識と技術をご紹介します。超音波ガイド下腕神経叢ブロックは覚えておけばいろんな場面で必ず役に立つテクニックです。

まだ超音波ガイド下神経ブロックの世界に足を踏み入れたことのないあなた、このセミナーを機会にぜひ超音波デビューを果たしてください。あなたの麻酔の質が向上すること間違いありません。

より安全、より確実なブロックを目指して

超音波画像下での視認性の向上を図るため、従来の無加工の神経ブロック針にエンブレイブ加工を施し、確実・安全に穿刺をサポートいたします。

UNISISの神経ブロック針の鮮明なエコーロケーションは富士フィルム株式会社のご協力により達成されたもので、超音波画像下において高い視認性を得ることが実現されております。